

## 事業実績報告書

実施期間	令和 5年 10月 3日～令和 6年 2月 5日
実施内容	<p>10月3日～ 第一回子どもカフェ開催に向けて準備開始。瑞玄寺にて住職の伊藤さんとアモール社労士事務所の市村さんから、子ども食堂「てらもぐ」についてお話を伺う。ここで、子ども食堂ネットワークを紹介していただいたり子ども食堂当日の担当配分、時間配分などをレクチャーしていただいたりする。</p> <p>10月27日 6人が子ども食堂「てらもぐ」に参加。第一回子どもカフェの宣伝もさせてもらう。</p> <p>10月31日 第一回子どもカフェを豊平会館で開催。ハロウィンをテーマにカボチャケーキを提供。子どもたちと折り紙をしたり宿題のお手伝いをしたりした。子どもが11名、保護者が1名来場。豊平会館には、調理道具やスペースがあったり、椅子やテーブルがたくさんあったりしたため、設備が整っていて運営しやすかった。カボチャケーキの準備が遅れたために、習い事の時間が迫っていた子と保護者にご迷惑をおかけしてしまった。このことから、次回はポスターにタイムスケジュールを載せることにした。</p>  <p>11月14日 第一回子どもカフェの反省会。次回に向けてどうするか、子どもや保護者とお話しして見えた地域課題は何かを話し合う。</p> <p>11月15日～ 第二回子どもカフェの開催に向けて準備開始。</p> <p>11月24日 8人が子ども食堂「てらもぐ」に参加。てらもぐの協力団体にむけて、子どもたちと一緒にお礼の色紙作りをする。1回目のでらもぐ参加よりも子どもとお話しする割合が多く、楽しんで色紙作りができ、子どもカフェの宣伝にもなった。</p> <p>12月10日 瑞玄寺でのお餅つきに14人がボランティア参加。</p>



12月22日 6人が子ども食堂「てらもぐ」に参加。今までの3回で、第二回子どもカフェを前にして全員がてらもぐに参加済み。  
 12月26日 第二回子どもカフェを北海商科大学で開催。一日遅れだが、クリスマス为主题に部屋を装飾。サンドイッチを自分好みで作れるようにして提供。子どもが2名、保護者も2名来場。そのほかに大人の方が5名来場。中国人の親子が来場してくれたのでお話を聞いたところ、日本語を学びたいお子さんのために、宿題支援のあるコミュニティを探しているということだった。これを聞いて、宿題支援+グローバルなコミュニケーションの場というようなイベントを開催してみたいと考えた。



1月9日 今までの活動を通して、全体の反省会。3回目は行うのかどうかを話し合う。

2月5日 メンバー間の日程調整に難航し、これ以上の開催を断念。札幌市に事業の中止を申請。承認され事業を中止。

備考	
----	--

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。